

児童総会がありました

5月7日(木)に児童総会がありました。本年度の児童会のテーマは、「輝け北っ子！青空のような広い心を持とう！」です。以下、総会の資料から紹介します。

活動のスローガンは、活動の頭文字を取って「あおいそら」運動です。「あ・お・い・そ・ら」は次のような内容になっています。

あ…明るく楽しく笑顔ですごそう

お…大きな声であいさつしよう

い…いいことをたんさんしよう

そ…外でたくさん遊ぼう

ら…樂せず、たくさん働こう

(1)「明るく楽しく笑顔ですごそう」では次のような具体的な活動が提案されました。

- ①ペアタイム
- ②クラス毎の工夫した取り組み
- ③手紙の交かん
- ④北小祭り

同じように、

(2)「大きな声であいさつしよう」でも次のような活動が提案されました。

- ①ペアであいさつ活動
- ②クラスごとのあいさつ運動
- ③あいさつ王の紹介

それ以外にも、

(3)「いいことを沢山しよう」(4)「外で沢山遊ぼう」(5)「樂せず、沢山働こう」についても具体的な取り組みが提案されました。

総会の中では、本部からの提案に対して、「スローガンとはなんですか。」「手紙交換とはどうするのですか。」「あいさつ王の紹介、とはどういうことですか。」等の質問が出され、本部からの提案をみんなが真剣に考え、納得した上で実行していこう、という姿勢が見られ頼もしく感じました。児童総会の話し合いをもとに、今よりももっと楽しく素晴らしい敷島北小になることを願っています。

児童総会の様子



お子さんの良さ見えていますか

中学校などではキャリア教育(職場体験)を教育活動に位置づけている学校があります。以前の中学校は受験中心だったため、教科指導の時間を確保するため職場体験をあまり重視していませんでした。ところが、大学を卒業しても家に引きこもり、実社会に出て働こうとしない若者の増加もあり(最近、ニートなどの問題が大きく取り上げられるようになりました)文科省でもキャリア教育を重視するようになりました。

この話は、今から10年程前のことです。キャリア教育が声高く提唱される前のことです。その中学校(仮にA校とします)は当時から生徒の職場体験を重視していました。東京の下町(町工場が多い)にあり、中学校を卒業して就職するという子が比較的多いという地域性もありました。A校では、受験で忙しくなる前の2年生が企業や施設に1週間、体験入社、入所して働いていました。

A校にB男という札幌のワルがいました。B男は腕力が強く、ケンカも強くボスの存在で周りの生徒から一目おかれていました。学校ではB男の扱いに大変手を焼き、職場実習をどうするか、頭を悩ませていました。お願いした会社や施設に迷惑をかけることは出来ません。そこで、B男には職場体験を免除し、その期間、学校に登校させて学習をさせる、という話にまとまりかけました。その時、生徒指導担当のC先生が、次のように言いました。

「私が責任を持ちます。B男にも職場体験をさせてください。」

C先生の熱心な説得に先生方も折れ、B男にも職場体験をさせることになりました。B男はC先生と一緒にC先生の知り合いが園長をしている幼稚園に行き、園長先生をお願いして保育士の見習いとして働くことになりました。B男は心の中で笑っていました。

「A中で番(番長という意味)を張っていたこの俺が、保父さんだと。笑っちゃうね。」

ところが、働きはじめると、B男の心が少しずつ変化しました。「お兄ちゃん、お兄ちゃん。」と小さい子から慕われ、一緒に遊び、頼られ、幼児同士のケンカの仲裁をする中で、B男が持っていた優しさ、面倒見の良さ、義侠心、責任感といった徳性が目覚めてきました。

そんなある日のことです。かけっこをして遊んでいた子が転んで泣き始めました。それを見てB男は急いで駆け寄ると、

「大丈夫、大丈夫。強いよ。」

と言って抱きかかえました。泣いていた子はB男の腕の中で泣きやみ、にこにこし始めました。丁度、それを園長先生が見ていました。園長先生はB男の近くに歩み寄ると、

「君は本当はとても優しい子なんだね。子ども達には君の優しさが分かるのだよ。」

と、ことばをかけました。園長先生のことばを聞き、B男の胸の中に熱いものがこみ上げてきました。

保育実習が終わり、中学校に戻ったB男を見て、先生方は誰もが驚きました。その表情、態度、たった一週間でこれほど変わるとは。(勿論、見違えるように立派になっていたのですが。)

この話は、以前東京都の中学校に勤務し「生徒指導の神様」といわれたC先生の実践からの引用です。この話は私たちに幾つかのことを教えてくれます。

①特別な体験が、その子が元々持っている素晴らしい可能性を一気に開花させることがある。

- ②どんな子も、心の底では人から認められたい、人の役に立ちたい、という願いを持っている。
- ③人は人から認められ、信じられることで、その期待に応え、人として歩み始めることができる。